

ベスト3(生徒・保護者:「1」・「2」を選んだ割合、教職員:「1」を選んだ割合) ↑:改善 ↓:後退 初:本年度初めての項目

	生徒	保護者	教職員
①	10 先生は、部活動を熱心に指導している。 (93%) ↑ 1	8 学校は、お便りや学校行事などの必要な情報を家庭に発信している。 (98%) ↑ 9	9 学校は、保護者や地域の方に対し、授業やその他参観する機会を適切に設けている。 (85%) ↑ 23
②	13 学習の中でパソコンやタブレットを使うことは勉強の役に立つと思う。 (92%) 初	9 授業参観等の回数は適切である。 (96%) ↑ 5	11 学校は、PTA組織とうまく連携し、有効な活動を実施している。 (77%) ↑ 31
③	11 先生は、生徒の健康管理に気を配っている。 (92%) ↓ 1	18 学校は、パソコンやタブレットを活用した学習に取り組んでいる。 (96%) 初	15 学校は、健康管理に気を配っている。 (77%) ↓ 8

ワースト3(生徒・保護者・教職員:「3」・「4」を選んだ割合) ↑:改善 ↓:後退 初:本年度初めての項目

	生徒	保護者	教職員
①	1 学校へ行くのが楽しい。 (31%) ↓ 20	5 お子さんは、授業でわからないことについて、先生に質問しやすいと言っている。 (49%) ↓ 13	12 学校は、あいさつを含め生活全般にわたる生徒指導は行き届いている。 (38%) ↓ 23
②	5 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。 (28%) ↑ 1	4 お子さんは、授業はわかりやすいと言っている。 (44%) ↓ 12	2 生徒は、積極的、主体的に部活動や生徒会活動に取り組んでいる。 (23%) ↓ 15
③	4 授業はわかりやすい。 (21%) ↓ 5 14 学校の設備は、安全で安心できる。 (21%) 初	3 お子さんは、体育祭や学習発表会など、各種行事が楽しいと言っている。 (22%) ↓ 8 6 お子さんは、毎日の宿題や提出物がきちんとできている。 (22%) ↓ 1	17 学校は、業務改善や働き方改革に取り組んでいる。 (23%) ↓ 15 20 学校の設備は、安全で安心できる。 (23%) 初

【成果】

- タブレット端末の学習効果への期待が見え、教職員による様々な活用方法がなされていることが分かる。
- マチコミ、HP、学年通信、学校通信、保健便り、給食便り等、また今年度からケーブルテレビ放送の運用を開始し、様々な媒体による学校に関する情報提供を行っている。
- 部活動方針を遵守しながら、効果的な指導が行われている。

【課題】

- 生徒のワースト1が「学校へ行くのが楽しい」となっていることが大きな課題。その要因の一つとして、「授業がわからない」、「質問がしにくい」ことが課題にあがっているように学校での時間の多くを占める学習のあり方にあると考えられる。改善のために、次の二点を柱とする。①授業力向上(授業の構造を明確化、つまずきの把握、質問しやすい環境づくり、相互授業参観等)、②学習意欲の向上(「できた」を実感できる小さな成功体験、なぜ学ぶのかが分かる授業、「間違えても大丈夫」という教室環境づくり)
- 学校の設備の老朽化(野球部部室、校舎内ガラス等)対策が必要。
- 教職員のアンケート結果からは、基本的な生活習慣についての粘り強い指導や新たな対策を講じる必要がある。そのためにも「やめる/簡素化/ICT化」から業務改善を行い、やりがいの感じる働き方を創造する。